仮か 真* 生いのなり 白ま 白ま 命を 萌え出い の翼蒼空高く舞う で 輝がや く楡陵に

風行く先に 心は駆ける

の宿に 我が身はあれど

謳ぅ 歌た V 、 て 暮 ħ 晚(lung) いの 夜ぷ

雪残っ

える 春

寮と 友も

の門が

出で に

我達の 滾 夜空 ^{たまり} よぞ かまも かまも かまで かまで 篝火染め ź 夜空を焦がす 紅ない 一瞬の夢 の類点

大地清め ^{だい ち きょ} 凍ぃ てつきし原始林 ば ただ白雪 髪凍る小路 一の言語

眠る若芽は á 白ゟがね 何をか の 夢ぬ 露っ FP

果て無く続く 共に歩むる 野心を胸に 進みて行かんゃしん むね すす は < 月光のな

小 長 日 谷 山 Ш 輝 健 泉 君 君 作 作 曲 歌